



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市横越総合体育館
 試合区分：成年女子 準々決勝
 開催期日：2009年10月4日(日)
 開始時間：15:15

GAME No. 1004C3

主審：伊橋 隆浩
 副審：関 伸夫

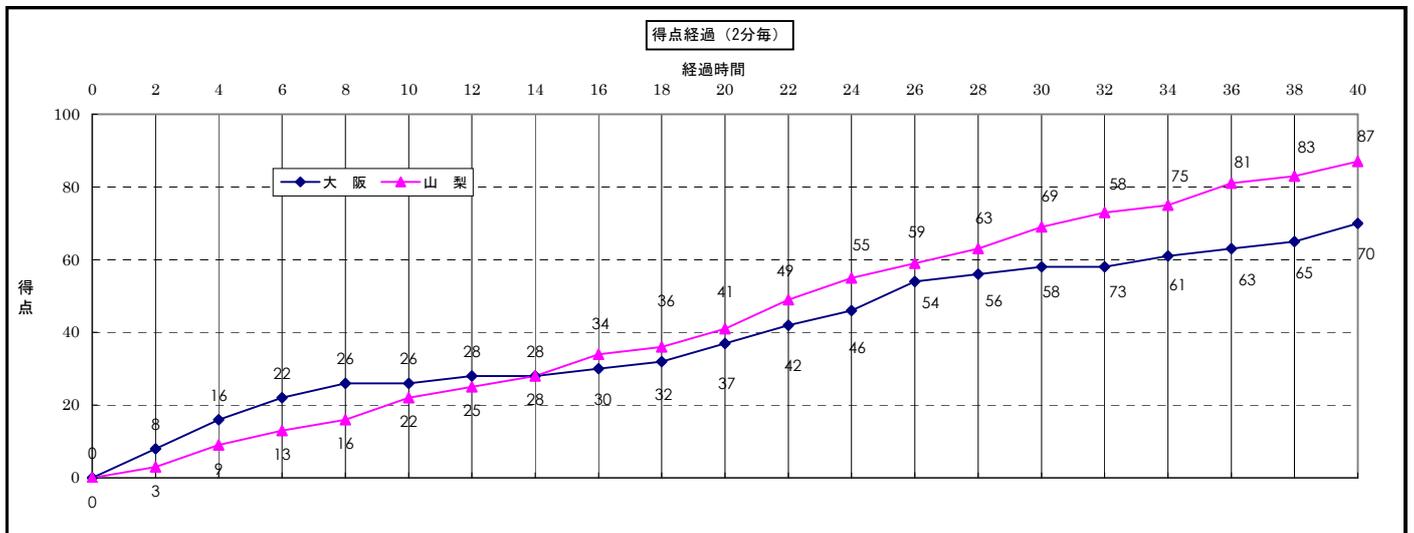
Team A 大 阪	● 70	26 -1st- 22 11 -2nd- 19 21 -3rd- 28 12 -4th- 18	○ 87	Team B 山 梨
----------------------	----------------	--	----------------	----------------------

TEAM A		大 阪					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		山本 由佳	-	-	-	-	-
5		宗近 尚子	-	-	-	-	-
6	*	川西 友子	13	2	2	3	5
7	*	根東 里紗	9	3	0	0	3
8		公文 真衣	0	0	0	0	2
9	*	落合 明子	19	3	4	2	3
10	*	三宅 瞳	16	0	8	0	3
11	*	安川 明德	9	1	3	0	5
12		原田 恵理	2	0	1	0	3
13		笠松 梓	0	0	0	0	0
14		笠松 梢	2	0	1	0	0
15							
Coach		田村 真理子					0
TOTAL			70	9	19	5	24

TEAM B		山 梨					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松木 豊子	5	0	2	1	0
5		山田 知佳	5	1	0	2	1
6		赤池 めぐみ	-	-	-	-	-
7	*	浅石 奈津子	17	0	4	9	4
8		佐藤 望	0	0	0	0	0
9	*	岡田 美香	20	0	9	2	1
10		小沼 郁美	-	-	-	-	-
11	*	松元 裕依子	17	0	4	9	2
12	*	二宮 可南子	0	0	0	0	0
13	*	佐藤 美鈴	23	0	9	5	0
14		加藤 順子	0	0	0	0	0
15							
Coach		炭田 久美子					0
TOTAL			87	1	28	28	8

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	-	14:07	33:28	36:08	39:39		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	5:31	-	24:45	38:59	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、大阪、山梨ともにマンツーマンでスタート。大阪は、#7根東、#9落合の3P、#10三宅のドライブインで先制し、8対0とリードする。山梨は、開始2分、#7浅石のドライブインで初得点。その後は、大阪の厳しいディフェンスの前にリズムに乗れない。大阪は#6川西の3Pやドライブインで残り3分、26対13とリードを保つ。そこからは、大阪のシュートがなかなか決まらず、山梨は、#4松木のパワープレイや、#11松元のフリースローで追い上げ26対22で1Qが終わる。

2Q、山梨は#7浅石のドライブインや#5山田の3Pで開始5分には28対30と逆転に成功。その後、山梨は#7浅石のドライブインや#13佐藤のポストプレイ、大阪は#9落合のカットイン、#7根東の3Pで得点を重ねる。2Q、37対41の山梨リードで終わる。

3Q、山梨は#13佐藤のシュートが次々に入り出す。しかし、大阪は入れられたらすぐに3Pや速攻で入れ返す。開始5分、55対52となったところで山梨のタイムアウト。そこから、山梨がリズムを取り戻し、速攻や、リバウンドシュート、フリースローで得点を重ねる。残り2分を切ったところで大阪#6川西、山梨#7浅石の両エースが4回のファールで交代。69対58の山梨リードで3Qが終わる。

4Q、大阪#6川西、山梨#7浅石の両エースがコートに戻る。山梨は落ち着いたパス回しでリズムをつかみ、#9岡田の速攻やドライブイン、#11松元のリバウンドシュートで得点を重ねる。大阪はドライブインや3Pを試みるもののリングに嫌われ得点が伸びず、さらには開始5分で#6川西が5ファールで退場。残り2分には83対65と大きくリードを許す。大阪は#11安川の3Pで追い上げを見せるが、タイムアップ。87対70で山梨が準決勝へ進出した。

記載責任者 金谷 諭 (所属) 新潟県バスケットボール協会